

平成30年度
事業報告書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

社会福祉法人 陽光会

岡山県玉野市玉原二丁目24番40号

目次

1.	法人理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
2.	法人・事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
3.	理事会及び評議員会の開催状況・・・・・・・・	P 3
4.	理事及び監事並びに評議員の状況・・・・・・・・	P 3
5.	事業の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
6.	各事業所の報告	
	特別養護老人ホーム フェニックス・・・・・・・・	P 4
	デイサービスセンター フェニックス・・・・・・・・	P 5
	ショートステイサービス フェニックス・・・・・・・・	P 5
	託児所 フェニックス・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5

1. 法人理念

「施設運営の透明性、信頼の確保」

「安心と安全に暮らせる地域福祉」

「公共性と経済性のバランス確保」

2. 法人・事業の概要

法人の名称	社会福祉法人 陽光会
法人の名称設立年月日	平成 5 年 1 1 月 1 8 日
法人の代表者	理事長 立石 哲也
法人の所在地	岡山県玉野市玉原二丁目 2 4 番 4 0 号
電話・FAX番号	(電話) 0863-32-3038 (FAX) 0863-32-3452
従業員数	4 2 名 (平成 3 1 年 3 月 3 1 日現在)

第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームの経営 (特別養護老人ホームフェニックス)

第二種社会福祉事業

老人デイサービス事業の経営 (デイサービスセンターフェニックス) 現在休止中

老人短期入所事業の経営 (ショートステイサービスフェニックス)

【事業の種類及び名称等】

名 称	所 在 地	(名) 定 員
特別養護老人ホーム フェニックス	玉野市玉原二丁目 2 4 番 4 0 号	80
デイサービスセンター フェニックス	玉野市玉原二丁目 2 4 番 4 0 号	19
ショートステイサービス フェニックス	玉野市玉原二丁目 2 4 番 4 0 号	20
託児所 フェニックス	玉野市玉原二丁目 2 4 番 4 0 号	6

【延べ利用者数の推移】

(名)

名 称	平成30年度	平成29年度
特別養護老人ホーム フェニックス	21,158	24,931
デイサービスセンター フェニックス	-	2,372
居宅介護支援事業所 フェニックス	-	301
ホームヘルプサービス フェニックス	-	1,280
ショートステイサービス フェニックス	2,848	2,892
託児所 フェニックス	256	266
訪問看護事業所 フェニックス	-	59

【職員数の推移】

(名)

名 称	平成30年度末	平成29年度末
特別養護老人ホーム フェニックス	34	38
デイサービスセンター フェニックス	-	4
居宅介護支援事業所 フェニックス	-	1
ホームヘルプサービス フェニックス	-	0
ショートステイサービス フェニックス	6	4
託児所 フェニックス	2	0
訪問看護事業所 フェニックス	-	0

(職員数にはパート職員を含む)

【借入金】

・独立行政法人福祉医療機構

平成30年度末残高 6,900,000円(3,450,000円 年賦償還)

償還完了予定年月日 令和3年 1月10日

・株式会社 中国銀行

平成30年度末残高 28,500,000円(6,000,000円 年賦償還)

償還完了予定年月日 令和5年12月10日

3. 理事会及び評議員会の開催状況

【理事会開催状況】

平成30年度 第1回（平成30年 4月12日） 6名出席
平成30年度 第2回（平成30年 5月17日） 6名出席
平成30年度 第3回（平成30年12月 6日） 5名出席
平成30年度 第4回（平成31年 3月27日） 5名出席

【評議員会開催状況】

平成30年度 定時評議員会（平成30年 5月31日） 3名出席

4. 理事及び監事、並びに評議員の状況

【理事・監事の状況】

役 職	氏 名	住 所	備 考
理 事 長	立石 哲也	玉野市玉	特別養護老人ホームフェニックス 施設長
業務執行理事	榎本 成孝	岡山市南区泉田	
理 事	小野 和秀	岡山市南区片岡	
理 事	梶谷 典之	岡山市北区西古松	
理 事	阿部 浩作	玉野市用吉	
理 事	河本 智也	玉野市迫間	
監 事	小野 武	玉野市宇野	
監 事	柏谷 和一郎	玉野市八浜町八浜	

【評議員の状況】

役 職	氏 名	住 所	備 考
評 議 員	谷口 康則	玉野市宇野	
評 議 員	二部野 旭	岡山市南区片岡	
評 議 員	長谷川 澄子	玉野市長尾	
評 議 員	山田 海紀男	玉野市玉原	

5. 事業の経過

当法人においては、「経営基盤の確立・強化」、「法人の経営理念に沿って事業を推進する」、「利用者サービスのより一層の向上」、以上3点を基本方針として事業を図った。

特別養護老人ホーム、ショートステイサービスにおいて平成29年4月、8月、9月、10月、11月、12月、平成30年1月、2月、3月に人員基準欠如が発生し、介護報酬収入の返還、減額が発生していたが、本年度においても減額による収入減が6月まで続き、経営基盤を大きく揺るがせた。介護職員・看護職員の人員を確保し利用者処遇の向上に努めた。利用者並びに地域から信頼される施設をつくるために、安定した経営状況は必須であり、外部コンサルタント会社と業務委託（人材育成等）契約を行い、金融機関からは長期借入金も行い、経営改善に努めた。地域に根ざす社会福祉法人となるべく、地域の清掃活動等へ積極的に参加し、安心と安全に暮らせる地域福祉を実現するために尽力した。不適切な介護サービスが発生しないよう、施設長（管理者）をはじめとする幹部職員は、利用者処遇の状況について管理、監督を徹底、各職員においては介護サービス計画に基づき適切な処遇を実施するよう努めた。また、法令遵守の徹底を図るため、権利擁護、倫理研修会を開催してより一層の意識改革に取り組んだ。内部研修や職員会議の開催により職員同士の情報交換も行い、課題の把握、解決に努めた。

スポーツ活動や歓迎会、内部研修の開催など職員同士の交流の場を設け、良好な関係に努めた。

6. 各事業所の報告

特別養護老人ホーム フェニックス

平成29年度において発生した人員欠如については、平成30年度内において改善しているが、引き続き採用活動を実施し、職員の確保に努めた。

施設長（管理者）は従業者の管理、業務の実施状況の把握、その他の管理を一元的に行いながら適切な介護を行うよう指揮命令し法令遵守を徹底させた。また、組織図の再編を行い、主任・副主任・リーダーを中心とし、各職種間で協働することができ、適切な入所者処遇が継続して確保されることを徹底した事業運営を行った。

デイサービスセンター フェニックス

前年に引き続き、事業は休止となっている。

新たな地域福祉の場としての在り方、運営の仕方を模索し、地域に根ざした社会福祉法人としてよりよい施設となるよう、設備の提供方法を検討した。

ショートステイサービス フェニックス

利用者の心身機能の維持、家族の身体的・精神的負担の軽減を図るとともに、利用者本人の意思及び人権を尊重したサービスの提供を目標とし事業運営を行った。外部研修機関を活用し、報告・連絡・相談や介護技術向上など、職員の資質向上のための取り組みを積極的に行った。

託児所 フェニックス

子ども一人ひとりに合った援助、関わりを行うため、年間指導計画、個別指導計画を作成し保護者の方が安心して託児所を利用して頂けるよう努めた。当年度は延べ利用者数は256名、1日平均利用者数は1.0名の利用となった。

異年齢児と関わることで相手の気持ちを考えられるような指導、様々な遊びを通じて物の大切さや運動機能の発達を図る指導を目指し、子どもの能力が発揮できる環境づくりを行った。